

令和7年度実績報告目標等の設定様式（放課後子供教室推進事業等）

都道府県名	11 埼玉県
市区町村名	11245ふじみ野市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
ふじみ野市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	児童に多様な体験活動の機会提供を継続していくにあたり、指導員の高齢化等による人材不足のため、人材確保が大きな課題となっている。	地域学校協働活動の参加者への声掛けや現指導員からの紹介等により、適性のある人材の確保に努めた。また、新たな確保のみならず、現指導員向けの研修を実施し資質向上に取り組んだ。また、市内大学の教職課程の授業の一環として、放課後子ども教室の現場に大学生に参加してもらい、若い世代の指導員の確保につなげるよう努めた。	大学生が現場に参加するにあたり、事務局による「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」に関する講義を行う。実際の現場へ参加では、1・2回目は実際に児童の様子を知り、指導員の見守り方を学びながら交流し、3回目では学生が企画を検討し運営を行う。	地域の若い世代と協働すること、指導員の負担が軽減されることが、児童に地域とのつながりや新たな若い世代との体験により、豊かな心を育む機会が提供される。	大学生の教室への参加回数	3	その他	3	4	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	市内大学との連携により、指導員も若い世代と交流することができ、新鮮な視点や発想など、学びの機会となった。その結果、新たな体験活動を児童に提供することにつなげることができた。 課題としては、参加学生が4年生が中心であり、授業としての参加後の人材確保につなげることが難しいことがあげられる。しかし、卒業後に教育現場で子どもと関わる職に携わる学生が多く、事業への参加をとおして地域学校協働活動への理解を深めることにつながっている。	ふじみ野市HP 放課後子ども教室 https://www.city.fujimino.saitama.jp/soshikiichiran/shakaikyokuka/shakaikyokugakari/2235.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。